



みんなで150周年に向かって！

川小だより

学校教育目標

・美点を認める明るい子 ・ルールを守る正しい子 ・背筋の伸びた丈夫な子

【目指す児童像・・・素直な子】

令和5年12月 1日(金) No.10

狭山市立入間川小学校

〒350-1323 狭山市鶴ノ木5-9

TEL 04-2952-6221 FAX 04-2952-6222

児童数 11 / 30 現在
491名

ゴールを想定して

校長 伊藤 秀一

「主体的・対話的で深い学び」については、以前この紙面でお伝えしたこともあります。現行学習指導要領で求められている学習のスタイルです。詳細は省略しますが、この学習スタイルが求められている背景には、子供たちが活躍する将来像があります。

AI（人工知能）が躍進し、国際化も一層進む中で、今以上に解決すべき多くの課題に直面する社会で一人一人が活躍できるように必要とされるのが、「主体的・対話的で深い学び」です。それぞれの持つ考えや能力を出し合い、新たな課題に挑み協働的に解決していく学びを指します。

その一方で、どのような時代でも変わらずに必要とされる能力や態度があります。11月21日（火）に、サンシャイン学級が智光山公園とサイボクハムへ遠足に行きました。その際の行き帰りにバスを利用したのですが、都合約50分間の車内では、16名の児童は誰一人おしゃべりをしません。うっかりおしゃべりしそうになる私に、「だめだよ！」と目顔で合図を送ってくれる子もいました。そのような姿に、他のお客様が「先に降車していいよ」と子供たちに快く道を譲ってくださる一幕もありました。

もちろん、歩く場面や広場で遊ぶ際には、声を上げてはしゃぐという子供らしい姿も見られました。大切なことは、場に応じた行動や態度を取ることができるということです。

やはり以前この紙面で、学力が伸びる児童が多い学級などの集団に共通する要素として、「非認知能力」が高いことをご紹介しました。非認知能力とは具体的に①主体的に課題を見出し解決していこうとする姿勢、②仲間とお互いの良さを認め合って協力していこうとする態度、③自己の感情を制御（コントロール）する力、などです。

サンシャイン学級の遠足で見られた姿は、まさに非認知能力の③が発揮された場面といえます。どのような時代でも変わらずに必要とされる大事な能力や態度の一つであると考えます。このようなメリハリのある態度が取れた児童を誇りに思うとともに、ここまでの教職員の指導やご家庭のご協力に感謝の念を抱きました。

「主体的・対話的で深い学び」と場にふさわしい態度のどちらも社会に出た際に、求められるものです。実際に発揮されるのは未来ですので、その場面を見届けることは難しいと思います。しかし、学んだ事柄が、「絵に描いた餅」とならぬよう、我々教職員は、どのような場面でどのように発揮してほしいのかという「教育のゴール」を想定し、日々教育実践に当たらねばと、改めて考えた秋の一日でした。

ありがとうございました

英語活動支援員の小林静子先生が、11月末をもってご退職されました。5年半にわたり、本校児童のためにありがとうございました。